

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可
二〇二一年四月二十三日発行(毎月十八回、一・二・三・五・六・七の日発行)
SSKP通巻第七六四三号

SSKP



Aikoh

福祉社会への道を照らす 愛の灯台
～一隅を照らす実践、地域への貢献～ No.74



CONTENTS

特集
1

-想いの糸を紡ぐ- 総合相談センター

特集
2

いつでも笑顔を忘れずに
～コロナ禍でも利用者の楽しみを～

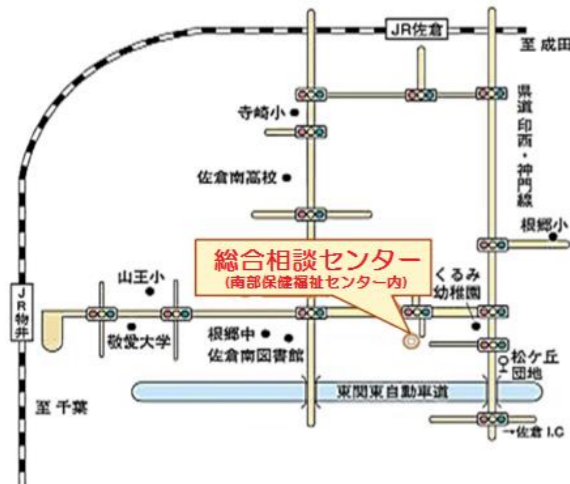
ほつとでホツとできるところ

ホームページをリニューアルしました!

こくこ・せんすう・りか・ふくし with コロナ / 感謝のコーナー / 日誌抄録

総合相談センターってなに？

お父さんが認知症かもしれない、子供は、障害をもっていて引きこもっている。今後どうしたらよいか相談に乗って欲しい。さて、どこへ相談に行ったらよいのでしょうか？今までは制度上、高齢者支援と障害者支援、それぞれ窓口が分かれていたため、一つの窓口で相談することが困難でした。「総合相談センター」はそんなお悩みを解決すべく、一つの窓口でまるごと相談ができるようになっています。



当センターは平成27年4月に高齢者の相談窓口である「南部地域包括支援センター」(包括)と障害者の相談支援機関「アシスト」が同じ事務所に「総合相談センター」として立ち上がりました。立ち上げ当初は、同じ法人とはいえ、お互いの業務については分からない部分もあり、手探り状態でした。けれども、同じ家庭内で高齢者と障害者を抱えた事例がいくつもあり、一緒にケースを対応する中で、お互いの役割を理解し、支援していくことができたのです。



当センターでは月に一度「包括」と「アシスト」合同で会議を行い、この場で情報共有しています。生活困窮、虐待、権利擁護、背景にはさまざまな問題を抱えている事例が多く、行政機関を始め、数多くの他機関と連携をはかっています。他職種で関わることで、いろいろな視点で物事を見ることが出来ます。「包括」と「アシスト」、連携してケースを支援できるのは当センターならではの「強み」です。

想いの糸を紡ぐ 総合相談センター

それは“つなぐ”こと

大切にしていること。それは「つなぐ」こと。総合相談センターとして2事業所が統合される前から包括の一職員として、そして今は総合相談センターの所長を務めている森所長に話を聞きました。『ご本人の想いを、きちんと受け止めて、きちんと支援につなげられているだろうか。振り返って考えることもあります。相談者に寄り添って、時には言葉にできない想いや気持ちを代弁し、その想いを受け止めて次につなげる。』

私たちはあくまでも案内役であり、決めるのはご本人、そのお手伝いができればと考えています。高齢の方も障害の方も、誰もが住み慣れた地域で、安心して生活できるよう、皆で支え合える、そんな地域作りと一緒に考えていきたいと思っています。』

「こんなこと、相談しても良いのかな」
大丈夫です。まずは気軽に足を運んでください。



地域の方に頼っていただける相談窓口として、職員一同お待ちしております。

営業時間：日曜～金曜 8:30～17:30
(土曜、祝祭日、年末年始は休みです)

佐倉市南部地域包括支援センター



「地域包括支援センター」は各圏域ごとに担当地区が分かれており、佐倉市内に5か所設置されています。

地域包括支援センターの取り組み

地域とのつながり作り
地域ケア会議

介護予防講座
としとらん塾

当事者・家族の
介護者教室

当事者・家族の
認知症カフェ

学校や企業への
認知症サポーター
養成講座



当センターは南部圏域を担当し、地域にお住まいの高齢者やそのご家族の暮らしをサポートするための相談窓口です。主任ケアマネ、保健師(看護師)、社会福祉士といった3職種の専門員が連携しながら、医療機関や介護サービス、地域の関係者と連携をとりながら、支援を行っています。

介護保険の相談窓口を中心に、高齢者の介護予防支援を行うほか、高齢者虐待への対応、権利や財産を守る成年後見制度の利用支援を行っています。

昨年はコロナ禍でいろいろな催しが中止を余儀なくされました。今年は、コロナ禍でも何かできないだろうか？新しい生活様式の中、アイデアを出し合い、地域の皆さんが興味を持てるような企画を考えていきたいと思っています。

第一弾！

『認知症について知ろう！』

をYouTubeにアップしました。

どうぞご覧ください！

これからもいろいろと

配信予定です。お楽しみに。



(TEL)

043-483-5520

住所：〒285-0806 佐倉市大篠塚1587
南部保健福祉センター内 B棟1階

佐倉市障害者生活支援センターアシスト

「アシスト」は、地域にお住まいの障害者(児)やそのご家族をサポートするための相談窓口です。日常生活を送る上で障害者の方が抱える悩みをお伺いし、専門機関と連携しながら必要な支援を行います。

障害特性や状況によって最適な支援内容は異なりますが、その選択は障害者(児)やそのご家族にとっては、なかなか難しいものです。ご相談くださった方々と専門機関とのあいだに私たちが入り、障害者お一人おひとりに合った支援につなげられたらと思っています。

(TEL)

043-484-6392

住所：〒285-0806 佐倉市大篠塚1587 南部保健福祉センター内 B棟1階



精神障害・知的障害
身体障害・発達障害
難病の方 など

- ①契約
- ②アセスメント
- ③計画相談作成



④福祉サービス利用

※流れに関しては個人差があります。

愛光神社、はちす神社建立!

コロナの一日でも早い収束と、今年1年が良い年になるよう祈願して、利用者さんと職員が鳥居や社を作ってお参りしました。



利用者さんが精魂込めて塗った鳥居も色鮮やかな愛光神社。願いが届きますように!



はちす神社の本格的な作りに利用者さんもお喜び。熱心にお参りされたり、おみくじを引いていました。

いつでも笑顔を忘れずに ～コロナ禍でも利用者の楽しみを～

コロナ禍にあって気軽に外出やイベントなどが難しい昨今、予期しない日常の変化にとまどいと不安を感じる利用者さん。愛光では、そんな中で利用者さんと楽しみながらさまざまな活動をしてきました。今回はその活動の一端を写真と共に紹介します。

めいわ

ご当地お菓子を舌鼓♪

旅行に行くことが難しい今、ご当地お菓子をお取り寄せして小旅行気分を味わいました。



めいわ紅白歌合戦開催!

「いざ勝負!」利用者さんがご自分の十八番で自慢の歌声を披露しました。

リホープ

冬の小(笑)運動会開催!

赤組・白組に分かれ、冬の陣!玉転がしや借り物競争... "職員を借りてきて"なんてお題も!? 楽しく身体を動かしました!



ルミエール

新年手作りアート作品チャレンジ

新年会では「書初め」にちなんで、手作りアート作品の制作に挑戦!利用者さんの力作がギャラリーを彩りました!



今回のアート作品作成の様子は Youtube にもアップロードしています。こちらのQRコードからアクセス!!





ほっとで ホツとできるところ ～児童センター・学童保育所～



コロナ禍で自粛生活が始まり、誰とも交流の機会をなくした「新米ママ」たちの産後うつが心配で、児童センターでは「ゆりかごタイム（0歳親子対象）」の企画に取り組みました。週1回、定員10組で募集したところ、アツという間に満員になり、さらにひとクラス増やしました。

パパ参加のゆりかごタイム

ママの育児が少しでも楽になるようにと、パパの育児参加を目的とした「ゆりかごタイム」も、月1回日曜日に開催しました。子どもを抱っこしながらでも、あそぶ楽しさが体験できるワークショップで、「フルーツバスケット」などのレクリエーションを行ったところ、夢中になって汗をかいているパパたち。



参加したパパから、普段は自分の趣味を最優先にしていたのに、「次回はいつ?」「また行ってイイ?」などという声が聞かれるようになったとのこと。

やっと、皆さんの期待に応えられようになったと思ったら、再び緊急事態宣言。「ゆりかごタイム」は、休止せざるを得ませんでした。参加しているママたちからは、「残念!」という声がたくさん聞かれ、再開を心待ちにしているようでした。



コロナ禍のなか、来館者は例年の10分の1以下。それでも私たちは、来館者が一人でもいれば、児童センターから「コロナを出さない!入れない!」を目標に、入れ替え時間を利用して、児童センターの床や壁などの隅々まで、清掃と消毒を繰り返しています。

児童センターは、あそぶだけが目的ではありません。「さみしいとき」「話を聞いてほしいとき」「居場所がないとき」、「困ったことや悩みがあるとき」、「つらいとき」こそ、南部児童センターを利用してほしいと思います。



《愛光公式SNS》



※お手持ちのスマートフォンやタブレットのカメラ機能をかざすと、読み取り閲覧が可能です。



佐倉市立南部児童センター

☎ 043-483-2800

開館日：火～日 9:00～17:00

〒285-0806
佐倉市大篠塚1587(南部保健福祉センター内)

ホームページをリニューアルしました！

ホームページトップ

この街で暮らす、あの人、この人。
 そのだれもが、自分らしく笑って、
 毎日をごさるるように。
 一人ひとりが歩む道を
 照らします存在でありたい。
 想いが、
 人の道を照らす。



コンセプト

- ・他法人との
違いをみせる
- ・パンフレット
とのリンク
- ・採用情報を
わかりやすく

ホームページ（HP）のリニューアルにむけて、2019年10月よりスタート。いざ取り掛かろうというタイミングで、新型コロナウイルス感染症が流行。思うようにスケジュールが組めないことも…

まずは写真撮影。もっと入念に数多くの写真を撮ると思いきや…。職員の笑顔を自然に引き出しながら数枚をパツと撮影。プロは違うな…。

文章やデザインは、編集者との意見が食い違うことも。

それだけ一つ一つの文章、そしてイラストやデザインの細部にまでこだわりをもって作製。製作段階ではイメージがわからない部分も完成してみるとなるほど！と思う部分ばかり。HP作成に携わることができていろいろと勉強になりました。

そんなこんなで出来上がったHP。愛光の想いを組み込んだ他にはない素敵なHPに仕上がりました。

ぜひご覧いただけたらと思います。



愛光さんとは法人案内パンフレット制作からのお付き合いで、かれこれ5年近く一緒させていただいております。今回リニューアルしたHPを通して、“福祉を起点に、街を元気にしよう！”と取り組んでいらっしゃる様々なプロジェクトを、ぜひ一人でも多くの方々に知ってほしいと思っています。微力ではございますが、近隣にお住まいのみなさまと愛光さんとのご縁をつなぐ、一つのきっかけになれば幸いです。

（ハタジルシ I さん）

コピーライターより一言

私は今回のHP制作で、はじめて愛光さんと一緒にさせていただきました。取材・撮影を含め、たくさんやりとりさせていただく中で、愛光のみなさまの温かさを実感しました。

今回のHP制作を通じて、愛光さんの目指す「共に支え、共に生きる」社会の実現に少しでもお役に立てたらと思っています。新型コロナが落ち着いたときにでも、また佐倉に遊びに行かせていただきます！

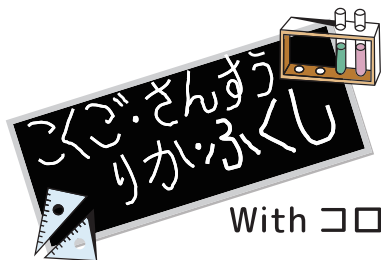
（ハタジルシ S さん）

ホームページはこちら！


<https://www.rc-aikoh.or.jp/>



※お手持ちのスマートフォンやタブレットのカメラ機能をかざすと、読み取り閲覧が可能です。



私たちの生活に影響を及ぼしているCOVID-19（新型コロナ）。たとえ感染しても地域のなかで笑顔の暮らしを取り戻せることの大切さを伝え、感染された方や医療従事者が、それぞれの暮らしの場所で、「ただいま」「おかえり」と受け入れられる雰囲気をつくり、思いやりがあり暮らしやすい社会をめざす。今回はそんな取組みを紹介します。




Citrus Ribbon PROJECT


（シトラスリボンプロジェクト）

コロナ禍で生まれた差別、偏見を耳にした愛媛の有志がつくったプロジェクトです。愛媛特産の柑橘にちなみ、シトラス色のリボンや専用ロゴを身につけて、新型コロナウイルス感染者らを差別しない運動を広めています。リボンやロゴで表現する3つの輪は、地域と家庭と職場（もしくは学校）です。シトラスリボンの輪を広げましょう。


Step1 シトラスカラー（柑橘をイメージした色）のリボン・紐などを準備します。リボンの色や材質はあなたの創意工夫で。




Step2 その材料で「地域・家庭・職場（or 学校）など」を示す「三つの輪」をつくれれば、「シトラスリボン」のできあがり。結び方は「飾り結び」「総角結び」などと呼ばれるものを参考に。



Step3 この「シトラスリボン」を身につけたり、おうちの玄関や郵便受けなどに掲示してみたりしてください。「元気ですか?」「また会いましょう!」のこぼれとともに贈りあうのもいいかもしれません。



Step4 リボンの画像をSNSで発信することも、このプロジェクトが広まるきっかけになります。
#ただいま #っていいあえるまちに
#おかえり #citrusribbonfromehime



感謝のコーナー (2020.11 ~ 2021.2)

法人ならびに各施設に対して、ご芳志をいただいた皆様です。厚く御礼申し上げます。勝手ながら敬称を省略させていただきます。（順不同）

【個人】中川勝、溝口正人、吉野智、宮嶋としえ

【団体】千葉おかみさん会、ルミエール家族会

日誌抄録

(2020.11 ~ 2021.2)

ル：ルミエール
根：根郷通所センター
よ：よもぎの園
包：南部地域包括支援センター
山：山王の家

め：めいわ
は：はちす苑
か：ワークショップかぶらぎ
児：児童センター・学童
後：後援会「愛の灯台基金」

リ：リホープ
ア：アシスト
ジ：ジョーの家
地：南部地域福祉センター

11月 | 19日 4年目職員交流会
28日 理事会

1月 | 23日 理事会（書面決議）
※緊急事態宣言中にて外部との研修等中止

12月 | 7日 感染症アドバイザー検定講座
8日 新年度採用試験
9日 ターミナルケア研修
12日 評議員会
16日 地域食堂ともいき（弁当配布）

2月 | 2日 内部登用試験
3日 感染症アドバイザー検定講座（WEB）
18日 メンティー交流会



編集後記

愛光ではコロナ禍の影響で今までのような外出や集団が集う行事などの活動はできず、自粛生活が続く日々が続いています。そんな中でも少しでも利用者の方々楽しめる工夫を行い、たくさんの方々の笑顔を見ることができました。今後も感染症対策をしっかりと行い、四季折々のイベントや季節を感じながら、さまざまな活動をして楽しんでいきたいと思ひます。（関谷麻）

編集委員

稲垣直子（委員長）／林拓也（総務部）／齊藤美佳（めいわ）／清水翔斗（はちす苑）／関谷麻人（ルミエール）／佐藤友里恵（リホープ）／藤山明子（南部包括）／椎名豊（ワークショップかぶらぎ）
イラスト協力：平野美幸（学童保育所）

2021年（令和3年）4月23日発行

社会福祉法人 愛光
発行人 西原 弘明
編集人 広報委員会
〒285-0807 千葉県佐倉市山王 2-37-9
TEL. 043-484-6391
FAX. 043-484-6396
E-MAIL mail@rc-aikoh.or.jp
U R L https://www.rc-aikoh.or.jp
印刷：ワークショップかぶらぎ